

第3期鎌ヶ谷市地域福祉計画 進捗管理・評価一覧表(令和元年度事業)

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|--------------------------------------|--------------------|---------|-------------|--------------------------|---|----|---|--------------------|--|-------|
| 基本目標1 地域で支えあう取り組みを推進します | | | | | | | | | | |
| 施策1 地域でのふれあい、支えあいをすすめます | | | | | | | | | | |
| 主な取り組み 01)ふれあい活動・支えあい活動に対する支援 | | | | | | | | | | |
| 1 | 地域の交流イベント等への参加への支援 | 障がい福祉課 | 福祉健康フェア入場者数 | 28 29 30 元 2 | 2,300 1,900 2,100 2,100 | 人 | (令和元年度) ①展示(各サークル、ボランティア団体による活動紹介)、販売(手作り品、紙製品、野菜、食品加工品など)、かますて(歌や踊り、郷土芸能等のステージ発表)などを開催している。 ②新規団体がセラピー犬とのふれあい会を実施したところ、心の癒しの効果があり、参加者からとても好評であった。今後も新規団体の参加を促し、福祉健康フェアの活性化を図る必要がある。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①福祉健康フェアの活性化が課題であり、今後の実行委員会を通じて検討していく。 ②事前に参加団体からの要望を整理する必要がある。 | B継続 |
| 2 | 老人クラブへの支援 | 高齢者支援課 | 会員数 | 28 29 30 元 2 | 1,482 1,493 1,430 1,392 | 人 | (令和元年度) ①老人クラブ加入促進のため、各クラブの活動内容や活動場所を記載したパンフレットを窓口にて配布し、会員の増強を図った。 ②老人クラブの活動内容のPRや加入促進につながった。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①会員全体の年齢が高齢化していること。 ②おおむね60歳以上について各年代の社会参加意識を高め、老人クラブで活動することへの関心を持ってもらう。 | B継続 |
| 3 | ふれあいサービス事業 | 社会福祉協議会 | 会員数 | 28 29 30 元 2 | 101 105 110 105 | 人 | (令和元年度) ①有料福祉サービス「ふれあいサービス」を実施した。また、協力会員向け研修会については、会員募集と合わせて、講義、調理実習など年6回実施した。子育てを理解する研修内容には、子育て支援センター、こども支援課、こども総合相談室、健康増進課の協力があつた。 ②高齢者や子育て世帯に合わせ、対人援助の方法について学び今後の活動に役立てた。また、市関係機関などの協力により、利用会員に繋がる案件もあつた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①コロナ禍の折、感染症拡大予防に配慮した「あたらしい活動の仕方」に努める。また、住民参加型事業のため、今後も継続して担い手の確保に努める。 ②今後、市関係機関の協力により、子育てを理解する研修内容を継続的に実施していきたい。 | B継続 |
| 4 | 福祉の学習機会の推進 | 障がい福祉課 | 実施回数 | 28 29 30 元 2 | 2 1 0 1 | 回 | (令和元年度) ①8月開催の子育て支援イベント「NICO-kama fes」に福祉作業所友和園と協働で参加し、パラリンピック正式種目ポッチャの体験会を行った。 ②障がい者と一緒に遊んだり、差別解消法や手話に関するパンフレットを配布することで、障がい者への理解を深めてもらった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①感染症拡大防止によるイベントの縮小や市内小中学校のカリキュラムの問題から、今年度は現地に赴いての活動は行わない。 ② | C縮小 |
| | 福祉の学習機会の推進 | 高齢者支援課 | 開催回数 | 28 29 30 元 2 | 23 22 22 25 | 回 | (令和元年度) ①校長会で認知症サポーター養成講座の小中学校への開催を呼びかけ、実施。中学校に関しては他部署と連携し人権擁護の講演の一部として毎年順次1か所ずつ開催。郵便局や銀行でも開催した。 ②小学校は全校で開催。また、鎌ヶ谷第四中学校で開催するなど児童・生徒への認知症に関する理解が広まったといえる。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①行事の兼ね合いもあり、講座が実施できない年もあつた。認知症について未受講の児童・生徒が出ないよう全校での実施を目標とする。 ②多くの小中学校や地域で講座開催について検討してほしい。 | B継続 |
| | 福祉の学習機会の推進 | 社会福祉協議会 | 参加人数 | 28 29 30 元 2 | 846 529 494 437 | 人 | (令和元年度) ①市内小学校・自治会・市民団体・福祉行政等で行う福祉体験等にボランティアの協力を得て講師を派遣し、福祉の理解を深める学習機会に協力した。 ・初富小手話クラブ(3名×2)、道野辺小JRC委員会(17名×2)、初富小JRC委員会(18名)、南部小オープンスクール(27名)、南部小3年・友和園交流会(39名+6名)、中部小5年(141名) 計271名 ・中央地区社協(20名×2)、西部地区社協(50名)、東部地区社協(30名) 計120名 ・市内企業(5名) ・福祉行政各課によるボランティア育成事業等(41名) 合計437名 ② | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①小学校での福祉体験については、車椅子・アイマスク・手話・点訳・高齢者疑似体験に加え、パラリンピック競技のポッチャ体験等、障がいについて理解が深まる内容であり、児童の思いやりを育てる福祉教育の一環として、今後も関係者との連携に努める。また、教職員については、今後障がいのある生徒の入学を見据え、学校生活でどのような配慮が必要かを福祉体験で学ぶ。 ② | B継続 |
| 5 | 地域支えあいの促進 | 障がい福祉課 | 開催回数 | 28 29 30 元 2 | 3 5 3 3 | 回 | (令和元年度) ①30年度に自立支援協議会の活性化を目的に専門部会の改編を行い、新たに発足した地域連携部会やテーマ別チームの活動が本格化した。 ②元年度末に各チームの報告を取りまとめることができた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、チーム編成のためのワークショップを開催することができず、6月末現在チームが編成できていない。今後のチームの編成や活動の方法などについて検討していく必要がある。 ② | A充実 |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|--|-------------------|---------|------------|--------------------------|--------------------------------------|----|---|--------------------|---|-------|
| 主な取り組み 02)市民との協働による地域福祉活動の支援 | | | | | | | | | | |
| 6 | 地区ふれあい員制度 | 市民活動推進課 | 地区ふれあい員委嘱数 | 28 29 30 元 2 | 474 485 480 480 | 人 | (令和元年度) ①市の後援で地区ふれあい員のつどいを開催し、研修活動の実施や地域における見守り活動の意義について啓発活動を行った。 ②避難所運営委員会や要支援者の活動など、市と自治会連合協議会が協働で取り組んでいる事業について理解を深める機会となった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①感染症を前提にした避難所における要支援者への対応など、地域における見守り活動の方法や在り方について再検討する。 ②地区ふれあい員による見守り活動の強化 | B継続 |
| 7 | 自治会加入促進対策の実施 | 市民活動推進課 | PRチラシ配布数 | 28 29 30 元 2 | 6,000 6,000 8,000 6,000 | 枚 | (令和元年度) ①毎年2月を加入促進月間とし、鎌ヶ谷市自治会連合協議会と協働でPRチラシの配布や加入促進活動に取り組んだ。 ②分譲地での加入など、加入増につながった地域がみられた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①引き続き、市と自治会連合協議会とで加入促進に取り組む。また、自治会役員の高齢化や未加入者の増加など組織の弱体化が見られるので、今後は運営上の課題解消や組織運営の強化に努める。 ②加入促進チラシの配布 | B継続 |
| 8 | 健康づくり・体操の会への支援 | 健康増進課 | 健康教育実施延数 | 28 29 30 元 2 | 33,396 39,948 38,201 36,199 | 人 | (令和元年度) ①地域で行われている老人会、談話室、体操の会等で、栄養士、歯科衛生士、保健師、健康づくりボランティアが健康教育を実施。 ②糖尿病・高血圧予防や歯周病検診の周知、朝ご飯を摂る事を重点的に実施し、市民の健康づくりや介護予防へとつながった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①元年度に引き続き、歯周病検診の周知、朝ご飯を摂る事、高血圧、糖尿病予防、若い世代を対象とした教育を重点項目として実施していく。 ②市民や地域の集まりの際に、健康づくりに関する内容をプログラムに取り入れていただきたい。 | B継続 |
| 主な取り組み 03)乳幼児、児童から高齢者まで見守る体制の充実 | | | | | | | | | | |
| 9 | 緊急通報システム事業 | 高齢者支援課 | 利用者数 | 28 29 30 元 2 | 42 41 42 37 | 人 | (令和元年度) ①昨年度と同様に事業を実施した。 ②機器の設置により、心疾患などの持病がある高齢者の在宅生活の見守りに役立つものとなった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①近隣に住む方に、緊急対応時に消防・業者とともに連絡を受けてもらう協力員となってもらうが、その協力を求めることが困難となる場合がある。 ②地域での協力体制づくりをお願いしたい。 | B継続 |
| 10 | 徘徊高齢者位置情報提供サービス事業 | 高齢者支援課 | 利用者数 | 28 29 30 元 2 | 9 8 11 15 | 人 | (令和元年度) ①昨年度と同様に事業を実施した。 ②徘徊のある高齢者に位置検索端末機を貸出し、介護者の負担を軽減させることにつながった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①徘徊のある高齢者が端末機を身に付けていないと効果がない。 ②日頃から徘徊のある高齢者の見守りをお願いしたい。また、認知症であり徘徊があることを家族が近所に伝えられ、見守りにつながるよう偏見のない受容できる地域となってほしい。 | B継続 |
| 11 | ひとり暮らし老人等給食サービス事業 | 高齢者支援課 | 利用者数 | 28 29 30 元 2 | 51 42 50 39 | 人 | (令和元年度) ①昨年度と同様に事業を実施した。 ②給食の配達をすることにより、利用者の安否確認と栄養の提供に役立った。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①サービス利用者が外出する際に、給食配達業者への連絡を忘れることがある。 ②利用者に対しては、外出等の連絡を忘れず行っていただきたい。近隣住民に対しては、見守りや声掛けなど協力体制づくりをお願いしたい。 | B継続 |
| 12 | 子育てサポーターの人材育成 | こども支援課 | サポーター研修の実施 | 28 29 30 元 2 | 15 15 15 11 | 回 | (令和元年度) ①子育てサポーター研修 11回/年 実施 延べ372人参加 新規サポーター養成講座 3回コース×2回 実施 サポーター登録者数 49名 ②子育て支援事業の場で活動し、子育て中の母等と語り合ったり、育児に関する簡単な相談に応じるなど子育てに関する不安や負担感の軽減に役立っている。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①新型コロナウイルス感染症対策で活動の機会が減っているが、状況に応じた活動の仕方を工夫する必要がある。 ②子育てサポーターの活動をPRし、周知をしていく。ニーズに応えられる体制が整えられるよう、感染症対策に留意しながらサポーターの登録人数を増加させる必要がある。 | B継続 |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|----------------------------------|---------------|-------|--------------------------------|-------|-------|----|---|-----------|---|-------|
| 主な取り組み 04) 民生委員児童委員、保健推進員などの活動支援 | | | | | | | | | | |
| 13 | 民生委員児童委員活動の支援 | 社会福祉課 | 民生委員・児童委員の実数 | 28 | 155 | 人 | (令和元年度) ①活動内容の充実強化を図るため、補助金を支出した(1,458千円)。 また、令和元年12月1日付けで民生委員の一斉改選があり、約4分の1の民生委員が新任として委嘱された。 ②民生委員への相談・支援数は下記のとおりであった。 新型コロナウイルス感染防止対策のため、積極的な訪問活動を自粛したことにより、前年度より件数は減少した。 (H30⇒R1) 高齢者に関すること 821件⇒715件 こどもに関すること 130件⇒134件 障がいに関すること 55件⇒42件 その他 158件⇒154件 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①新任の委員を対象とした行政研修を行い、福祉に対する知識の理解を深め、民生委員活動の向上につながるよう、支援する。 また、一斉改選により生じた欠員補充のため、広報等を活用し、民生委員について周知を広めていく。 ②自分の住んでいる地域の民生委員・児童委員が誰なのかを知っていただき、困ったことがあれば気軽に相談してほしい。 | B継続 |
| | | | 相談・支援件数 | 28 | 1,139 | | | | | |
| | | | 29 | 1,121 | | | | | | |
| | | 30 | 1,164 | | | | | | | |
| | | 元 | 1,045 | | | | | | | |
| | | 2 | | | | | | | | |
| | | 28 | 28 | | | | | | | |
| | | 29 | 27 | | | | | | | |
| | | 30 | 26 | | | | | | | |
| | | 元 | 26 | | | | | | | |
| | | 2 | | | | | | | | |
| 14 | 保健推進員活動 | 健康増進課 | 保健推進員訪問、4か月児健康相談来所者、赤ちゃんサロン来所者 | 28 | 1,926 | 人 | (令和元年度) ①2～3か月児のいる家庭への全戸訪問の他、赤ちゃんサロン等への参加を通して、市民の身近な相談者として活動し、支援が必要な家庭を地区担当保健師につないだ。また、訪問時に必要な知識等の習得や円滑に活動が出来るよう、毎月の研修会で専門家を招いた講演会や疑問に思うこと等の解決を図るための意見交換会等を行った。 ②研修会等を通して、目的の確認や役割への理解を深める機会を増やした結果、91.6%の家庭に訪問することができた。また、意見交換会等と通し、保健推進員同士親睦を深めることができ、活動のモチベーションアップにつながった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①新規の保健推進員も含め、やりがいを持ち、不安なく活動できるよう、研修会で活動目的等についての確認を継続して行い、情報交換や話し合いの機会を積極的に持ち、活動を支援する。 ②活動の効果が理解できるよう、保健推進員による支援を受けた感想を、フィードバックしてもらおうと共に、市民への周知が効果的にできる場を教えていただきたい。 | B継続 |
| | | | | 29 | 2,192 | | | | | |
| | | | | 30 | 2,308 | | | | | |
| | | 元 | 1,794 | | | | | | | |
| | | 2 | | | | | | | | |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|---|-----------------|---------|----------------|--------------------------|----------------------|----|--|--------------------|---|-------|
| 施策2 地域での支えあい拠点を増やします | | | | | | | | | | |
| 主な取り組み 05)活動拠点の整備と活用 | | | | | | | | | | |
| 15 | 地域活動支援センターへの支援 | 障がい福祉課 | 地域活動支援センター利用者数 | 28 29 30 元 2 | 36 35 28 33 | 人 | (令和元年度) ①鎌ヶ谷市の援護する障がい者の通所する地域活動支援センターⅢ型事業所(市内2か所、市外1か所)に対して、補助金を支出した。 ② | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①サービスの選択肢が多様化する中、本市内の社会資源やニーズに見合った支援が課題である。 ② | B継続 |
| 16 | 自治会集会所整備に対する支援 | 市民活動推進課 | 自治会集会所整備件数 | 28 29 30 元 2 | 0 3 0 3 | 件 | (令和元年度) ①粟野自治会修繕事業、中沢自治会修繕事業、道野辺あおば自治会借家事業における整備について支援を行った。 ②福祉活動など地域コミュニティ活動のほか、災害時の一時避難施設として集会所を活用できることで、自治会活動のより一層の充実を図ることができた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①集会所の老朽化が進んでいる自治会については建替や修繕事業を、集会所をもたない自治会については借家事業を案内するなど、地域の実情に合った自治会集会所の計画的な整備を支援する。 ②整備にかかる自治会内での合意形成 | B継続 |
| 主な取り組み 06)地域福祉コーディネーター(相談員)の配置と相談体制の充実 | | | | | | | | | | |
| 17 | 地域福祉コーディネーターの配置 | 社会福祉協議会 | 人員配置 | 28 29 30 元 2 | 0 1 1 1 | 人 | (令和元年度) ①6地区社協に配置している地区コーディネーターと協働しながら、住民が気軽に集まり、情報交換できる「サロン」の拡充に努めた。 ②それぞれのサロンで、移動交番や地域包括支援センターの協力を得ながら、専門的な相談にも応じられるようになってきた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①新型コロナウイルス感染拡大防止の為、「新しい生活様式」を取り入れた開催方法について模索中である。 ② | B継続 |
| 18 | 地域福祉コーディネーターの研修 | 社会福祉協議会 | 事務局会議等 | 28 29 30 元 2 | 11 16 11 10 | 回 | (令和元年度) ①10回の事務局会議と、1回の勉強会を通し、住民への情報提供の仕方について検討を重ねた。 ②研修会では広報誌について情報交換と学びを深めることができた。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①全国事例などを学ぶため、講師による研修を検討している。 ② | B継続 |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|--|--------------------|---------|----------------------------|--------------------------|----------------------------------|------|---|-----------|--|-------|
| 施策3 ボランティアなどの多様な担い手を増やします | | | | | | | | | | |
| 主な取り組み 07)ボランティア活動への多様な人々の参加促進や人材育成等の総合的な支援 | | | | | | | | | | |
| 19 | ボランティアの活動しやすい環境づくり | 市民活動推進課 | 情報提供数(チラシ掲示、HP記事掲載)、及び相談件数 | 28 29 30 元 2 | 361 368 426 364 | 件 | (令和元年度) ①ボランティアが活動しやすい環境となるよう、市民活動推進センターにおいて、あらゆる機会を捉え、チラシの掲示、HPの記事掲載、相談事業を行ったほか、市民活動を若者に体験してもらう事業を実施した。 ②チラシの掲示(169件)、HPの記事掲載(46件)、相談事業(149件)により、ボランティア活動の情報提供やボランティア、市民公益活動、地域活動を希望している人をつなぐ窓口を充実した他、若者体験事業により45人の若者が市民公益活動を体験した。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①新型コロナウイルス感染症の影響により、今後はオンラインでの情報提供や、3つの密を避けて相談を行う等、感染防止対策を行った上で環境づくりを行う必要がある。 ②ボランティア活動等を行う際にも、感染防止対策に配慮していただきたい。 | B継続 |
| | ボランティアの活動しやすい環境づくり | 社会福祉協議会 | 相談件数 | 28 29 30 元 2 | 3,578 3,778 3,787 4,097 | 件 | (令和元年度) ①地域のボランティア情報や福祉ニーズの把握など、福祉活動に繋がるボランティア活動の情報収集と情報提供に努めた。また、市民活動に関する市民からの問い合わせについては、窓口である市民活動推進課と情報共有を行うことで、適切に対応することができた。 ②市民活動推進課と情報共有を行うことで、相談者の活動への選択肢が広がった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①福祉活動につながるボランティア情報の収集及び情報提供に努める。 ② | B継続 |
| 20 | 市民に対する啓発の推進 | 市民活動推進課 | 講座の実施 | 28 29 30 元 2 | 10 10 11 11 | 回 | (令和元年度) ①地域活動に興味がある市民を対象に、多様な主体の橋渡しを行う「地域づくりコーディネーター」の育成を目的とした講座「かまがや地域づくりコーディネーター養成講座2019」を11回実施した。 ②その結果、受講者が実際にコーディネーターとして活動し、多数の実績が生まれた。また、その実績をもとに、6名の方を「地域づくりコーディネーター」として認定した。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①新型コロナウイルス感染症の影響により、今後はオンラインでの講座の実施を検討するとともに、コーディネーターとしての活動も3つの密を避ける必要がある。 ②認定したコーディネーターには、感染拡大防止に配慮した活動をしていただくとともに、今後必要となる地域活動やコーディネーターとしての活動を検討していただきたい。 | B継続 |
| | 市民に対する啓発の推進 | 社会福祉協議会 | 講座の実施 | 28 29 30 元 2 | 25 27 27 28 | コース数 | (令和元年度) ①ボランティア活動に関心のある方や活動中のボランティアに対し、各種講座や市民ボランティア体験等の開催について、市広報紙・社協広報紙・HPの掲載、チラシ・ポスターを公共施設などに配布し、ボランティアに関する情報を発信した。また、特別企画として、年齢や活動場所等問わず参加できる市民ボランティア体験を実施した。 ②広く情報発信をすることで、多くの市民の参加につながり、ボランティアへの理解・関心を深めることができた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①新型コロナウイルス感染拡大防止の「新しい生活様式」を取り入れ、それぞれ世代やニーズに適した講座を開催し、幅広く社会福祉協議会及びボランティアセンターの周知をする。 ② | B継続 |
| 21 | ボランティアの育成と連携機能の強化 | 学校教育課 | 青少年赤十字宿泊活動 | 28 29 30 元 2 | 2 2 2 2 | 回 | (令和元年度) ①夏休みに各学校の代表児童生徒を集めて、青少年赤十字の実践活動普及を目的とした宿泊研修を実施した。さらに推薦された児童・生徒は冬休みにリーダー育成宿泊研修会に参加した。 ②将来のボランティア担い手である児童・生徒の福祉意識の醸成につながった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①青少年赤十字の指導技能の高い指導者の育成が課題である。 ②特記事項なし | B継続 |
| | ボランティアの育成と連携機能の強化 | 社会福祉協議会 | 夏休み福祉体験 | 28 29 30 元 2 | 36 40 62 55 | 人 | (令和元年度) ①ボランティアに参加しやすい夏季休暇中に、福祉への理解を深める目的で、児童・生徒・大学生向けに、福祉施設・団体等と連携し、ボランティア活動が体験できる「夏休み福祉体験」を開催し、参加者に「活動証明書」を発行した。将来福祉の担い手となるきっかけづくりとして、ボランティア育成に努めた。 ②福祉への理解を深め、またボランティアとの触れ合いをとおして活動することへの喜びを実感した。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①新型コロナウイルス感染拡大防止の「新しい生活様式」を取り入れ、将来の担い手確保に向けて、若い世代のボランティア体験について、学校・福祉施設・団体関係者と連携し、今後も継続して参加者に「活動証明書」を発行する。 ② | A充実 |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|-------------------|--------------------------------|----------|----------------|--------------------------|----------------------------------|----|--|--------------------|--|-------|
| 22 | 健康づくりボランティア育成事業 | 健康増進課 | 健康づくりボランティア登録数 | 28 29 30 元 2 | 89 83 82 82 | 人 | (令和元年度) ①ボランティアの育成として、定例会を5回実施、延135人の参加があった。NPO法人健康都市活動支援機構の協力のもと、健康づくりボランティア普及媒体としてDVDを作成。スキルアップ研修会各団体に実施した。 ②DVD作成の趣旨を共有できたことで、多数のメンバーが主体的に参加し、関係が深まった。研修後、資質向上が図れ、士気が高まった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①定例会で活動の場、ボランティア登録数を増やすための工夫を検討する。 ②健康づくりボランティア活動に関心をもち、講座等に積極的に参加してほしい。 | B継続 |
| 23 | 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業) | こども総合相談室 | 提供会員数 | 28 29 30 元 2 | 167 160 164 171 | 人 | (令和元年度) ①年4回の基礎研修の他、ステップアップ研修を2回実施するとともに、自治会回覧や広報等で会員募集の増加を図った。 ②昨年度に比べ、提供会員が増加し、利用件数は横ばいであることから、必要な対象者にサポートができた。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①保育園等の送迎や仕事等を理由として預かり等を必要としている家庭に対して、制度の周知を行うとともに、支援が必要な家庭が利用できるよう、引き続き、十分な提供会員を確保する必要がある。 ②有償ボランティアに興味がある地域の方々がいいた場合にご案内していただきたい。 | B継続 |
| 24 | ボランティアセンター事業 | 社会福祉協議会 | ボランティア登録人数 | 28 29 30 元 2 | 1,201 1,166 1,170 1,104 | 人 | (令和元年度) ①福祉活動に関するボランティア窓口として、相談・連絡調整・育成等に努めた。また地域福祉の大切さを広く市民に広め、テーマ別各種講座の開催や市民向け・児童生徒向けボランティア体験等を実施し、新たなボランティアの掘り起こしと活動に必要なスキルアップに努めた。 ②登録人数は減少傾向にあるが、ボランティア一人ひとりの活動については充実していると考えられる。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①市民がボランティア活動を通じて、人と出会い、つながり合い、学び合い、豊かな時間を過ごせるようにボランティアセンター事業の推進に努める。また、福祉施設や企業の社会貢献活動やボランティア活動への情報提供に努める。 ② | B継続 |
| 25 | 地区社会福祉協議会の活動 | 社会福祉協議会 | ボランティア育成事業数 | 28 29 30 元 2 | 53 53 62 67 | 回 | (令和元年度) ①6地区社協それぞれ、交流や健康維持を目的とした事業など多様な事業を実施し、地域の方々から、多くの参加を得た。 ②サロン事業や体操など、定期的な居場所づくり、健康づくりに参加している方などは、仲間づくりができ始めている。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①地区社協事業への参加者も運営する側(ボランティア)も、共に地域の方々であり、高齢化や役割の兼任が進んでいる。 ②地区社協事業の参加者の中や地区住民の中から、個別の声掛けなどして、運営を補助していただく人材の発掘も必要。 | B継続 |
| 主な取り組み 08)市民活動の支援 | | | | | | | | | | |
| 26 | 市民活動推進センター | 市民活動推進課 | センター来所者 | 28 29 30 元 2 | 5,010 5,977 6,256 5,251 | 人 | (令和元年度) ①市民との協働により、多様な主体間の交流イベント「市民活動・男女きらりフェスタ」を開催した他、チラシ、HPにより情報発信、相談事業等を行った。 ②その結果、市民活動推進センターへの来所者は5,251人となり、多くの市民に市民活動の周知ができた。「市民活動・男女きらりフェスタ」の来場者アンケートでは、市民活動やボランティアに関する意識・行動にポジティブな変化が起きた方が85.43%おり、市民活動団体等との交流により意識の変化があった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでどおりのイベント等の開催が困難な状況にあるため、今後は「新しい生活様式」に即した内容とする必要がある。 ②「市民活動・男女きらりフェスタ実行委員会」に、今後の当該イベントのあり方を検討していただきたい。 | B継続 |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|--|---------------------------|---------|--------------|--------------------------|--------------------------------------|----|---|--------------------|--|-------|
| 主な取り組み 09)生涯学習機会の拡充 | | | | | | | | | | |
| 27 | 社会福祉センターの活用 | 高齢者支援課 | 広報依頼件数 | 28 29 30 元 2 | 11 12 11 11 | 件 | (令和元年度) ①地域の活動拠点となる社会福祉センターにて、広報への依頼があった際の窓口となり、令和元年度は11件の依頼を受け、広報に記載した。 ②社会福祉センターで行われる事業を周知した。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①個別付属設備の老朽化。 ②引き続き指定管理にて適正に管理運営する。 | B継続 |
| 28 | 成人講座、ふれあいまつりなどの学習センター主催事業 | 生涯学習推進課 | 広報等による周知 | 28 29 30 元 2 | 20,550 20,288 19,175 16,537 | 人 | (令和元年度) ①生涯学習を推進するため、生涯の各時期に応じた多様な学習機会の提供、グループやサークルの主体的学習活動の支援及び学習成果の発表など、各種事業を行った。 ②各館で30事業を実施、16,537人の参加があった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①学習ニーズの多様化に対応した学習機会の検討。 ② | B継続 |
| 29 | かまがやまなびい大学 | 生涯学習推進課 | 受講者数 | 28 29 30 元 2 | 13,832 12,236 17,959 17,942 | 人 | (令和元年度) ①行政の各部ごとに学部を設置し、学部ごとに主催講座を実施した。また、職員を講師として市民団体などの研修会や講習会に派遣をした。 ②学部主催講座 6講座 157人 講師派遣事業 382件 17,785人 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①講師派遣メニューの充実。 ② | B継続 |
| 主な取り組み 10)高齢者の持つ知識や技能を生かす場の提供と活動団体の育成 | | | | | | | | | | |
| 30 | シルバー人材センターへの支援 | 高齢者支援課 | 会員数 | 28 29 30 元 2 | 484 491 496 529 | 人 | (令和元年度) ①シルバー人材センターの広報活動や運営上の手続きに協力した。 ②令和元年度は会員数が529人(33人増)であった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①世代間ニーズの相違等による会員数の横ばい傾向 ②会員数の増加に向けて、社会参加意識を広めてもらう。 | B継続 |
| 31 | 世代間交流の充実 | 幼児保育課 | おじいちゃん先生採用人数 | 28 29 30 元 2 | 4 4 4 4 | 人 | (令和元年度) ①少子化、核家族化の進行する中で、保育園において人生経験豊かな中高齢者を保育士を補助する職員として雇用。 ②各公立保育園で1名合計4名の採用。日常保育の中で遊び等を通じて中高齢者と触れ合うことにより乳幼児の豊かな情操を育むことに寄与した。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①安定した人員の確保 ②人員確保のため、地域での就労希望者の紹介 | B継続 |
| 32 | 高齢者の社会参加と地域における支えあい体制づくり | 高齢者支援課 | ゲートボール場 | 28 29 30 元 2 | 7 7 7 7 | 箇所 | (令和元年度) ①令和元年度は高齢者に身近なスポーツ施設であるゲートボール場の土地賃借契約を継続し、またゲートボール場にダストを搬入した。 ②高齢者の活動の維持存続を支援した。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①契約者・利用者の高齢化と活動人数の減少傾向。 ②スポーツ活動・社会参加への意識を広めてもらう。 | B継続 |
| 33 | 活動希望団体への助言 | 高齢者支援課 | 単位老人クラブ | 28 29 30 元 2 | 30 29 29 29 | 箇所 | (令和元年度) ①老人クラブや老人憩の家で活動することへの相談受付を通して、必要であれば関係各課や社会福祉協議会に連絡した。 ②相談受付を通して、老人クラブや老人憩の家を支援した。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①活動希望団体について、さまざまな部署に関する内容を含む相談が多い。 ②地域との協力体制の中から、活動している団体同士の情報共有をしていただきたい。 | B継続 |
| | | 高齢者支援課 | 憩の家 | 28 29 30 元 2 | 7 7 8 8 | 箇所 | | | | |
| 34 | 老人クラブへの支援(再掲) | 高齢者支援課 | 会員数 | 28 29 30 元 2 | 1,482 1,493 1,430 1,392 | 人 | (令和元年度) ①老人クラブ加入促進のため、各クラブの活動内容や活動場所を記載したパンフレットを窓口にて配布し、会員の増強を図った。 ②老人クラブの活動内容のPRや加入促進につながった。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①年金受給開始年齢の上昇とともに60歳代で就業している場合が多く新規会員の加入が得られないため、会員全体の年齢が高齢化していること。 ②おおむね60歳以上について各年代の社会参加意識を広め、ひきこもりがちな高齢者の方々に地域で声をかけ合い、老人クラブで活動することへの関心を持ってもらう。 | B継続 |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|--|------------------------|---------|---------------------|--------------------------|-----------------------------------|----|--|-----------|--|-------|
| 基本目標2 必要な相談・情報・支援が得られるしくみを推進します | | | | | | | | | | |
| 施策4 身近な相談支援体制を充実します | | | | | | | | | | |
| 主な取り組み 11) 様々な相談窓口の周知 | | | | | | | | | | |
| 35 | 相談窓口の周知 | 市民活動推進課 | 相談窓口の 広報掲載件 数 | 28 29 30 元 2 | 12 12 12 12 | 件 | (令和元年度) ①各種相談窓口について、市広報で12回周知した。 ②周知した結果、全体で439件の相談に応じることができた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①各種相談窓口について、市広報で周知する。 ②地域のふれあいの中で、困っている人に各種相談窓口を紹介していただきたい。 | B継続 |
| | | 高齢者支援課 | 相談件数 | 28 29 30 元 2 | 6,384 5,168 5,892 11,140 | 件 | (令和元年度) ①高齢者支援課や地域包括支援センターの相談窓口について周知してもらえるよう、在宅医療・介護連携推進世話人(広報部会)で「支えあうまち かまがや」のポスターの掲示を検討した。また、各地域包括支援センターの担当地域を見やすくし、地域包括支援センターの周知のためのチラシを検討した。その他では鎌ヶ谷市認知症ケアパスを発行し、認知症の相談窓口を掲載。市の認知症相談事業は広報で毎月周知するようにした。 ②世話人(広報部会)で原案が決定。また、各地域包括支援センターのチラシも原案が完成し市内医療機関、介護事業所に300か所以上に配布。認知症ケアパスについても同様に配布し、相談窓口を周知することができた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①世話人(広報部会)では、配布したポスターの反応を伺うためにアンケートを作成予定。それを参考にポスターの内容を定期的に変え、効果的な情報発信をする必要がある。認知症ケアパスは内容を追加し、より見やすいケアパスとなるよう業者と検討する。 ②近所の方などで支援が必要な人がいれば、これらのチラシや認知症ケアパスがあることを伝えてほしい。 | B継続 |
| 36 | 健康増進事業 | 健康増進課 | 健康相談実施数 | 28 29 30 元 2 | 5,913 5,727 6,162 5,572 | 人 | (令和元年度) ①各事業の他、地域での集まり(老人会、各地区事業等)、イベント等で、歯科衛生士、栄養士、保健師による健康相談 ②一人一人の問題に沿った、より適切な相談ができるよう対応し、健康づくりや問題解決へとつながった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①一人一人の問題に沿った、より適切な相談ができるよう、職員の研修研鑽を継続する。また、必要な人が相談できるよう各種相談を周知する。 ②市民や地域の集まりの際に、健康相談を取り入れたり、活用していただきたい。 | B継続 |
| 37 | 心配ごと相談、心の相談事業 | 社会福祉協議会 | 相談延件数 | 28 29 30 元 2 | 177 161 170 161 | 件 | (令和元年度) ①心配ごと相談では、市民が気軽に相談できる窓口として対応した。心の相談では、人間関係の改善や健康のことなど相談を受け付けた。(相談は電話及び面談。) ②相談員向けの研修会を実施。(テーマ:精神障がい者への理解) | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①コロナ禍のため、感染拡大防止の観点から相談室の環境を整え、相談員体制及び相談時間の短縮、電話相談を中心に実施している。 ② | B継続 |
| 38 | 高齢者の虐待防止など権利擁護の取り組みの推進 | 高齢者支援課 | 相談件数 | 28 29 30 元 2 | 10 9 22 21 | 件 | (令和元年度) ①警察からの高齢者虐待事案通報や、地域包括支援センターからの虐待相談受付票を受け、関係機関と連携して事実関係の把握に努め、問題解決に向けた対応を行った。 ②虐待により居宅での生活が困難なケースに対しては、養護老人ホームへの措置入所を支援した。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①高齢者と同居している子からの虐待が多い。経済的・精神的に問題を抱えていることが多いため、就労支援や精神科通院等に繋がられるように他部署との連携に努める。 ②日頃から地域での見守りをお願いしたい。また気になることがあれば市、地域包括支援センターへ連絡をお願いしたい。 | B継続 |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|--------------------------------|-----------------|--------|------------------|--------------------------|-----------------------------------|----|---|--------------------|---|-------|
| 主な取り組み 12)高齢者の相談支援体制の充実 | | | | | | | | | | |
| 39 | 総合相談支援業務 | 高齢者支援課 | 相談件数 | 28 29 30 元 2 | 6,384 5,168 5,892 11,140 | 件 | (令和元年度) ①地域包括支援センターにおいて、健康、医療、福祉に関する総合的な相談支援を行った。 ②虚弱、認知症、独居など介護支援や見守り、相談が必要な方に介護・医療サービスや地域の見守りが介入することができた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①地域包括支援センターにおいて、健康、医療、福祉に関する総合的な相談や支援を引き続き行う。 ②身近な方でお困りの方がいたら、地域包括支援センターを含め関係機関へ情報提供をしてほしい。 | B継続 |
| 40 | 地域包括支援センター | 高齢者支援課 | 相談件数 | 28 29 30 元 2 | 98 225 438 647 | 件 | (令和元年度) ①権利擁護、介護予防ケアマネジメント及び地域ケア会議等を行った。 ②各地域包括支援センターに訪問依頼等を行い、医療や介護サービス等に迅速につなげることができた。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①地域包括支援センターにおいて、総合相談、権利擁護、介護予防ケアマネジメントを引き続き行う。また、市で行っている事業内容を把握し、適切な市サービスへつなげるよう各職員が理解し案内できるよう取り組む。 ②日常生活で高齢者の見守りを行い、必要に応じて関係機関へ情報提供をしてほしい。 | B継続 |
| 主な取り組み 13)子育ての相談支援体制の充実 | | | | | | | | | | |
| 41 | 利用者支援事業の実施 | こども支援課 | 設置箇所数 | 28 29 30 元 2 | 1 1 1 1 | 箇所 | (令和元年度) ①東部学習センターなどの公共施設において定期的に出張窓口を開催し、子育て世代のニーズ及び状況把握を行うとともに、HP(かまっこ応援団)を活用しさまざまな子育て情報の発信をおこなった。また、子育てサークルの育成支援として『ママコンシェルジュ講座』を実施した。 ②子育てサークルを3件ママコンシェルジュ認定サークルとした。講座の参加者同士の交流も深まり、お互い協力しやすい環境づくりができた。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①事業の更なる周知・子育てサークルの育成を図る必要がある。 ②幼稚園、保育園、民間事業所、学校などを含めた地域ネットワークを構築する必要がある。 | B継続 |
| 42 | 妊産婦に対する訪問・相談 | 健康増進課 | 妊産婦に対する訪問・相談実施件数 | 28 29 30 元 2 | 1,634 1,571 1,617 1,575 | 件 | (令和元年度) ①利用者支援事業(母子保健型)を継続すると共に、母子健康手帳交付時に保健師・助産師による全数面接を行うとともに支援プランを作成し、必要時、妊産婦訪問、相談を実施した。妊産婦への支援を「産前産後サポート事業」に位置付けることで内容を明確にし、他機関へつなげる等、切れ目ない支援を行った。また、早期の母子健康手帳交付となるよう、広報等で、広く周知を行った。 ②母子健康手帳交付時に専門職が全数面接し、支援プランを作成できた。また、支援が必要な妊産婦には電話や訪問等で確実に支援することができた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①早期に母子健康手帳の交付につながるよう広報やホームページでの周知徹底。一人一人にあった、きめ細かな情報提供を行うと共に、要支援者を必要な支援に繋げられるよう、職員のスキルの向上と相談しやすい体制づくりに努める。 ②民生委員、主任児童委員、保健推進員等、地域の支援者の方に各サービスや相談窓口を知ってもらい、必要な方をつなげてもらう。 | B継続 |
| 43 | 子どもに対する訪問・相談 | 健康増進課 | 子どもに対する訪問・相談実施件数 | 28 29 30 元 2 | 5,465 5,401 5,289 4,783 | 件 | (令和元年度) ①出生届出時に母子保健サービス登録票の提出を受け、新生児訪問を実施し、必要なサービスに繋げた。その後も支援が必要な乳幼児には、訪問等で相談・指導を実施した。また、乳幼児健康相談・健康診査は全数通知をすると共に、未受診者へは訪問や面接・電話にて支援を実施した。支援する側のスキルを向上させるため、定期的に研修会を実施した。 ②出生時から、母子保健サービス登録票を確実に提出してもらい、その後も新生児訪問や健康診査等で切れ目のない支援を行うことができた。研修等を行うことで、職員のスキルアップにつながった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①母子保健サービス登録票の提出時の面接、乳幼児健康相談・健康診査未受診者への対応を継続し、必要な支援・サービスにつなげる。研修会の実施等で、継続して職員の面接技術の向上を図る。 ②民生委員、主任児童委員、保健推進員等、地域の支援者の方に各サービスや相談窓口を知ってもらい、必要な方をつなげてもらう。 | B継続 |
| 44 | 子どもの教育に関する相談の実施 | 学校教育課 | 心理発達相談員の相談回数 | 28 29 30 元 2 | 351 244 315 271 | 回 | (令和元年度) ①心理発達相談員が特別支援教育のニーズに応じて、指導室窓口および巡回相談を通して、観察・相談・検査を行っている。 ②児童生徒のニーズに応じて教職員や保護者に学校や家庭での支援や対応について丁寧に助言を行い、成果をあげている。近年要因が複雑化したケースも多く、相談回数は減っているが、相談件数は47件増加している。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①30年度より心理発達相談員の相談時間の割合を増やした。心理発達相談員への相談内容は多様化・複雑化している。家庭訪問相談員もH29より活動をはじめ、不登校児童生徒に対して、家庭を含めて支援を行っている。相談件数増加に伴う検査へのきめ細かな対応と支援を関係機関とより一体となって進める。 ② | A充実 |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|----|-------------------|------------|----------------|--------------------------|---|----|--|--------------------|--|-------|
| 45 | 家庭児童相談室 | こども総合相談室 | 相談受付件数 | 28 29 30 元 2 | 9,328 9,406 14,345 14,319 | 件 | (令和元年度) ①子どもと家庭に関する身近な子育ての相談から児童虐待に至る深刻な相談まで対応した。 ②令和元年度は相談対応件数は、14,319件と昨年度よりも減少している。うち894件については改善等により終了した。相談対応件数の内訳として、家族関係の相談が全体の約半数を占める。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①子どもの養育環境の悪化や生活の多様化により、児童虐待や養育に困難が生じている家庭が増加していることから、対応する職員の専門的な知識を向上させるとともに、きめ細やかな支援が必要になる。 ②子育てに悩む親や、児童虐待を受けていると思われる子どもに気づいた際には、連絡をお願いしたい。 | B継続 |
| 46 | 児童センター・保育園による相談事業 | 子育て支援センター | 電話・サロン等での相談 | 28 29 30 元 2 | 510 160 797 546 | 件 | (令和元年度) ①子育て支援センター・各児童センターにおいて実施するサロンやつどいの広場のほか、電話相談を受けている。 ②どんな内容の話でも寄り添って聞くことで、子育て世帯の持つ不安感や負担感の軽減につながっている。また、必要に応じて関係機関とへつなげている。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①新型コロナウイルス感染症対策で各事業が中止となったため、子育て中の保護者と接する機会が極端に減り、親子の様子が見えなくなったため、相談を待つのではなく児童センターから利用者に電話をかけて子育ての様子を聞き取るようにする。 ②地域の子育て支援拠点において活動する子育てサポーターを確保し、保護者に簡単な遊びの提供をしたり子育て相談を受けられる体制を整える。 | B継続 |
| | | 各児童センター | 電話・つどいの広場等での相談 | 28 29 30 元 2 | 676 197 896 923 | 件 | (令和元年度) ①窓口や保育園において、子育ての悩み等の相談を受けている。 ②相談内容に応じて、関係機関へつなげ、支援に寄与することができた。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①相談を受ける上で、経験や専門知識をより得ていく必要がある。 ②些細なことでも、相談や話をしに来てほしい。 | B継続 |
| | | 幼児保育課・各保育園 | 電話・園庭開放等での相談 | 28 29 30 元 2 | 364 209 379 298 | 件 | (令和元年度) ①療育支援として、専門職による相談を、電話、来所や施設への訪問を実施している。指定障害児相談支援事業所では、福祉サービスの利用に向けての基本相談、計画相談を実施している。 ②子どもの発達に関する相談機関として、保護者や関係機関からの相談を受け、子育て環境を整える支援を行った。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①保護者からの相談の他、地域の保育の現場等からも障がいの早期発見、早期対応のため専門職の助言の希望が増えている。 ②発達障がいやその特性のある子どもを地域全体で支えていくために、支援が必要な子どもや保護者に利用を勧めてほしい | B継続 |
| 47 | 子どもの発達に関する相談の実施 | こども発達センター | 相談・支援件数 | 28 29 30 元 2 | 3,999 3,899 4,367 4,833 | 件 | (令和元年度) ①療育支援として、専門職による相談を、電話、来所や施設への訪問を実施している。指定障害児相談支援事業所では、福祉サービスの利用に向けての基本相談、計画相談を実施している。 ②子どもの発達に関する相談機関として、保護者や関係機関からの相談を受け、子育て環境を整える支援を行った。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①保護者からの相談の他、地域の保育の現場等からも障がいの早期発見、早期対応のため専門職の助言の希望が増えている。 ②発達障がいやその特性のある子どもを地域全体で支えていくために、支援が必要な子どもや保護者に利用を勧めてほしい | B継続 |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|----------------------------------|-----------------|-----------|------------|--------------------------|------------------------------------|----|--|--------------------|---|-------|
| 主な取り組み 14)障がいのある人の相談体制の充実 | | | | | | | | | | |
| 48 | 障がい者相談支援事業 | 障がい福祉課 | 相談件数 | 28 29 30 元 2 | 9,392 9,025 11,155 11,429 | 件 | (令和元年度) ①障がい者や家族からの相談に応じ必要な情報提供や権利擁護のために、2か所の事業所に相談業務を委託し、障がい者の自立した日常生活、社会生活の向上を図った。また、各種相談員の資質向上や地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として基幹相談支援センターで専門的な助言指導を行った。 ②利用件数の増加が見られた。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①相談業務の委託先事業所が1箇所減るため、事業の持続可能な体制の確保が求められる。 ② | B継続 |
| 49 | 精神保健相談 | 健康増進課 | 相談数 | 28 29 30 元 2 | 1,284 1,255 1,187 1,241 | 人 | (令和元年度) ①精神保健学習会、ゲートキーパー養成等を実施。随時、電話、面接、訪問で相談に対する支援を継続して実施した。 ②成人事業や精神保健事業、地区活動のなかでゲートキーパーの教育を実施することができた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①相談窓口の周知していく。自殺対策計画を含んだ「第3次いきいき・プラン健康かまがや21」を策定する。 ②精神保健学習会等を受講し、精神障がい者を地域で支える理解者となって欲しい。 | B継続 |
| 50 | 児童発達支援(のびのびルーム) | こども発達センター | 利用人数 | 28 29 30 元 2 | 43 45 43 38 | 人 | (令和元年度) ①心身の発達に心配のある乳幼児に対し、一人ひとりの状況に合わせて、基本的な生活習慣の自立・社会性・身体機能の発達を促すように通所による支援を行う。 ②個別支援計画に基づいて、施設の専門性を高め療育支援、家族支援を実施した。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①保護者の就労により療育支援を受けることが難しい家庭の子どもに対して、保育園等と連携をして支援をしていく体制整備が必要と思われる。 ②障がい児とその家族が安心して生活できる地域づくりを考えていく必要がある。 | B継続 |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|---------------------------------|------------|-------|---------------------|--------------------------|-------------------------------------|----|---|--------------------|---|-------|
| 施策5 生活困窮者の自立支援をすすめます(新規) | | | | | | | | | | |
| 主な取り組み 15)生活困窮者への自立支援 | | | | | | | | | | |
| 51 | 自立相談支援事業 | 社会福祉課 | 相談件数(新規、継続併せて) | 28 29 30 元 2 | 98 84 91 78 | 件 | (令和元年度) ①家計改善支援員が1名加わり、自立相談、就労準備、家計改善の3事業を一体的に実施する包括的支援体制が整った。 ②就職者数も過去3カ年の平均件数と同程度の16件となり、就労支援も定着している。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①地域に潜在している引きこもり者本人や家族、社会と接点を失っている人にも支援を行う。 家計改善支援事業の実施し推進していく。 ②生活や就労に関すること等で困っている方がいた場合、生活支援相談窓口(社会福祉課内)を紹介していただきたい。 | B継続 |
| | | 社会福祉課 | 支援プラン作成(再プラン含む) | 28 29 30 元 2 | 58 58 67 56 | 件 | | | | |
| 52 | 住居確保給付金の支給 | 社会福祉課 | 支給対象(新規、継続含む) | 28 29 30 元 2 | 2 5 9 6 | 人 | (令和元年度) ①前年度の制度の周知が進み支給件数は過去3カ年の平均件数と同程度の6件となった。 失業者の傾向としては、離職3カ月後に申請する単身世帯が多い。 ②総支給額:1,251,100円 支給した家賃月:27カ月分 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①離職者の他、新型コロナウイルスによる収入の減少した方についても、安心して就労・収入の回復に努められるよう支援をしていく。 ②周囲に住まいや就労に関すること等で困っている方がいた場合、生活支援相談窓口(社会福祉課内)を紹介していただきたい。 | B継続 |
| | | 社会福祉課 | 支給額 | 28 29 30 元 2 | 0 377 1,109 1,754 1,251 | 千円 | | | | |
| | | 社会福祉課 | 自立した人 | 28 29 30 元 2 | 0 2 6 6 | 人 | | | | |
| 53 | 就労準備支援事業 | 社会福祉課 | 講座実施回数 | 28 29 30 元 2 | 8 12 12 12 | 回 | (令和元年度) ①全6回の講座形式の就労準備支援事業を前期後期2回実施した。 生活習慣の見直し、就職活動の基礎知識だけでなく、調理実習や職場見学も実施した。 ②参加者10名中、就職した者5名、他機関へつないだ者1名 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①未就労期間が長期の人には、他者とのふれあいが自尊心の回復に効果的であると解ってきたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から集合や移動が制限を受けているため、人数、配置、時間、換気に注意を払い開催すること、また、通信による遠隔支援も取り入れていく。 ②就労体験やボランティア活動への参加は、自己有用感を高め、自信と精神的余裕を持たせる。 今後も地域での就労体験やボランティア活動の場を広げていきたい。 | B継続 |
| | | 社会福祉課 | 参加者数(実数) | 28 29 30 元 2 | 24 17 11 10 | 人 | | | | |
| | | 社会福祉課 | 就労した人 | 28 29 30 元 2 | 3 5 2 5 | 人 | | | | |
| 54 | 学習支援事業 | 社会福祉課 | 実施回数(学習支援、レクリエーション) | 28 29 30 元 2 | 39 50 49 41 | 回 | (令和元年度) ①通常の学習支援の中に模試やテスト、小論文の作成を行ったり、書籍を増やした。 レクリエーションでは、公共の交通機関を使った移動で課外活動を実施した。(2回計12名参加) また、調理実習を実施。集団作業や食品・栄養面について学んだ。(3回計73名参加) ②高校進学では6名全員が高校へ進学した。(公立5名、特別支援1名)。 その他、継続的に利用する児童も時間内は集中して学習する習慣が身に付いてきた様子が見受けられるようになった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①これからも内容を固定せず、様々なアイデアを積極的に実践して、学習意欲の向上と居場所づくり、家庭や生活に関する助言を行い、事業の利用を促進させる。 ②児童生徒の保護者との意見交換の機会を増やしたい。ボランティアや協力団体を増やしていきたい。 | B継続 |
| | | 社会福祉課 | 参加者数(実数) | 28 29 30 元 2 | 22 57 57 45 | 人 | | | | |
| | | 社会福祉課 | 高校進学率 | 28 29 30 元 2 | 100 100 100 100 | % | | | | |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|----------------------------------|---|------------|-------------|--------------------------|----------------------------------|----|--|-----------|--|-------|
| 施策6 地域福祉に関する広範な情報提供をすすめます | | | | | | | | | | |
| 主な取り組み 16) 情報発信の強化 | | | | | | | | | | |
| 55 | 多様な広報媒体の活用 | 安全対策課 | 安心eメール登録者数 | 28 29 30 元 2 | 7,117 7,927 8,434 9,256 | 人 | (令和元年度) ①広報かまがや(毎号24回)に登録用QRコードを載せ、防犯キャンペーン(11回)・自主防災訓練(18回)等において、PRチラシを配布した。 ②平成30年度末8,434人だった登録者が、令和元年度末には9,256人と822人増加した(防災配信5,616人・防犯配信3,640人※重複登録者あり)。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①安心eメールの登録者をさらに増やすため、PR活動を継続する。 ②地域においても安心eメールの登録をPRしていただきたい。 | B継続 |
| | 多様な広報媒体の活用 | 市民活動推進課 | 相談窓口の広報掲載件数 | 28 29 30 元 2 | 12 12 12 12 | 件 | (令和元年度) ①各種相談窓口について、市広報で12回周知した。 ②周知した結果、全体で439件の相談に応じることができた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①各種相談窓口について、市広報で周知する。 ②地域のふれあいの中で、困っている人に各種相談窓口を紹介していただきたい。 | B継続 |
| 56 | 広報紙の充実 | 秘書広報課広報広聴室 | 広報発行回数 | 28 29 30 元 2 | 24 24 24 24 | 回 | (令和元年度) ①「広報かまがや」の定期的な発行(市ホームページへの掲載、SNSでの告知、スマートフォン用アプリ「マチイロ」での配信を含む)、新聞未購読世帯の希望者へのポスティング実施、公共施設や駅への配置、声の広報の実施、より読みやすく親しみのある紙面デザインの実施 ②市の施策や行事、市民の自主的活動等の市民生活に必要な情報を提供し、市政への理解と協力を得ることに資する広報紙を発行することができた。また、「広報かまがやカラーユニバーサルデザイン(CUD)適用マニュアル」に基づいた、誰もが分かりやすい色づかいとすることによって、高齢者、視覚障がい者等にも見やすい紙面とすることができた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①障がいの有無等に関わらず、より多くの読者に市政情報等について周知するために、「広報かまがやカラーユニバーサルデザイン(CUD)適用マニュアル」に沿った広報紙の発行を継続する。また、文字情報だけではなく、効果的なイラストや写真を掲載するなどし、視覚的にも読みやすく親しみの持てる広報紙を発行する。 ②声の広報を、引き続き朗読ボランティアと協力して作成し、視覚障がい者へ配布する。 | B継続 |
| 57 | 市ホームページのリニューアル事業(該当事業は平成30年度をもって完了したため、令和元年度からは市ホームページ管理・運営事業に改称し、実施している) | 秘書広報課広報広聴室 | 市ホームページ更新件数 | 28 29 30 元 2 | 1,357 1,457 1,957 2,983 | 件 | (令和元年度) ①CMS(コンテンツ・マネジメント・システム)が導入されたりリニューアル後の市ホームページについて、市職員向けのCMS操作研修を実施、全国瞬時警報システム(Jアラート)試験送信の実施 ②市職員向けのCMS研修を通して、ウェブアクセシビリティに配慮した市ホームページコンテンツ作成に関する職員間の共通認識を深めることができた。また、各所属におけるコンテンツの作成が可能となったことにより、迅速で正確な情報提供が可能となった。加えて、大規模災害時等の緊急時に即時に情報を配信する体制を確保することができた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①市ホームページの全面リニューアルの完了をもって事業は平成30年度で達成したが、今後も市ホームページの管理・運営にあたり、誰もが利用しやすいホームページとなるよう、ウェブアクセシビリティに配慮し、市民に見やすく分かりやすい行政情報の提供を行っていく。 ②市民生活に必要な情報や本市の魅力を積極的に発信し、「お問い合わせメール」及び「市政へのご意見」フォームを通して今後も意見などを受け付ける。 | B継続 |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|---|---------------------------|--------------|------------|--------------------------|--------------------------------------|----|---|--------------------|--|-------|
| 主な取り組み 17)地域活動や学習活動を通じた直接的な情報提供手段の模索 | | | | | | | | | | |
| 58 | 高齢者生涯学習 | 高齢者支援課 | 生涯大学への推薦 | 28 29 30 元 2 | 1 3 3 1 | 人 | (令和元年度) ①学生募集の広報掲載、パンフレット・申し込み用紙の配布、同大学への推薦を行った。 ②1名の推薦を得た。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①例年推薦する人数が増加しないこと。 ②社会参加意識を広めてもらうために、このような大学を利用していきたい。 | B継続 |
| 59 | 成人講座、ふれあいまつりなどの学習センター主催事業 | 生涯学習推進課 | 広報等による周知 | 28 29 30 元 2 | 20,550 20,288 19,175 16,537 | 人 | (令和元年度) ①生涯学習を推進するため、生涯の各時期に応じた多様な学習機会の提供、グループやサークルの主体的学習活動の支援及び学習成果の発表など、各種事業を行った。 ②各館で30事業を実施、16,537人の参加があった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①学習ニーズの多様化に対応した学習機会の検討。 ② | B継続 |
| 60 | かまがやまなびい大学 | 生涯学習推進課 | 受講者数 | 28 29 30 元 2 | 13,832 12,236 17,959 17,942 | 人 | (令和元年度) ①行政の各部ごとに学部を設置し、学部ごとに主催講座を実施した。また、職員を講師として市民団体などの研修会や講習会に派遣をした。 ②学部主催講座 6講座 157人 講師派遣事業 382件 17,785人 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①講師派遣メニューの充実。 ② | B継続 |
| 61 | 社会参加促進事業 | 身体障がい者福祉センター | 受講者数 | 28 29 30 元 2 | 1,644 1,718 1,647 1,490 | 人 | (令和元年度) ①身体障がい者の社会参加や機能維持を図るため、各種講座を合計207回開催した。 ② | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (R2年度) ①講座受講者が年々高齢化かつ固定化しており、今後介護支援事業等との連携も含め要検討。 ② | B継続 |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|--|----------------------------|-------|----------------------------|--------------------------|----------------------------------|----|---|-------------------------|---|-------|
| 基本目標3 安全で安心して暮らせるしくみを推進します | | | | | | | | | | |
| 施策7 避難行動要支援者への支援をすすめます《重点施策》 | | | | | | | | | | |
| 主な取り組み 18)災害時に支援が必要な人の把握と安全確保策の推進 | | | | | | | | | | |
| 62 | 災害時要援護者避難支援制度周知事業 | 社会福祉課 | 周知回数 | 28 29 30 元 2 | 1 1 2 3 | 回 | (令和元年度) ①令和元年度は、数回にわたり自治会連合会理事会にて、避難行動要支援者支援制度について説明を行ったほか、個別に自治会を訪問し、制度の説明会を開催した。 ②避難支援制度に理解をいただき、15自治会と協定を締結し、同意者名簿を提供することができた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①より多くの自治会等と協定を締結し、同意者名簿を提供できるよう、引き続き、広報、市のホームページや出張説明会などで周知をしていく。 ②自分の家のまわりに、ひとりでは避難することが難しい高齢者や障がい者等がいることを知っていただきたい。 | B継続 |
| | | 社会福祉課 | 説明会開催数 | 28 29 30 元 2 | 1 1 11 5 | 回 | | | | |
| 63 | 災害時要援護者個別計画作成事業 | 社会福祉課 | 個別計画作成人数 | 28 29 30 元 2 | 512 354 0 0 | 人 | (令和元年度) ①登録者数354人は、避難支援制度の旧制度における指標であり、平成30年度に新制度へ移行したことにより、リセットしたが、その後、まだ要支援者と自治会等で個別支援プランの着手に入っていないため、0人である。 ②まだ支援する側の体制が整っていないこともあり、協定を締結し、同意者名簿の提供をする段階にとどまった。 | C実施されている部分もあるが、不十分な点が多い | (令和2年度) ①同意者名簿を活用した支援の手引きを作成し、地域による個別支援プラン(個別計画)の作成を支援していく。 ②日ごろの、見守りや声かけ、個別支援プランの作成など、自治会、民生委員、地域のボランティアなどの連携を進めていきたい。 | B継続 |
| 64 | 災害時要援護者リスト(避難行動要支援者名簿)整備事業 | 社会福祉課 | 要支援者数(避難行動要支援者名簿登録者数) | 28 29 30 元 2 | 2,807 4,058 4,216 4,801 | 人 | (令和元年度) ①対象者名簿を年に1回更新した(4,801人)。要支援者に支援希望の有無を確認し、地域での情報共有に対して2,243人の同意があった(令和2年5月15日現在)。 ②対象者名簿を関係部署(防災担当課、健康福祉部、消防本部)の間で共有することができた。地域での支援を希望する要支援者が2,243人いることが分かり、地域の避難支援体制づくりの基礎材料となった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①より多くの自治会等と協定を締結し、同意者名簿を活用した避難支援体制づくりを支援していく。 ②自分の家のまわりに、ひとりでは避難することが難しい高齢者や障がい者等がいることを知っていただきたい。 | B継続 |
| | | 社会福祉課 | 要支援者のうち、地域で共有することについて同意した者 | 28 29 30 元 2 | 0 0 1,913 2,243 | 人 | | | | |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|------------------------------------|-----------------------|------------|------------|--------------------------|---|----|--|-------------------------|--|-------|
| 施策8 安全なまちづくり・防災防犯活動をすすめます | | | | | | | | | | |
| 主な取り組み 19)安全な移動手段の確保 | | | | | | | | | | |
| 65 | 道路・歩道等の整備 | 道路河川整備課 | 整備延長 | 28 29 30 元 2 | 1,965 1,058 600 383 | m | (令和元年度) ①道路整備(舗装改良等)をL=383m実施した。 ②道路環境が改善され、振動・騒音等の軽減に繋がった。 | C実施されている部分もあるが、不十分な点が多い | (令和2年度) ①歩道の整備等、道路拡幅が必要な事業には用地買収等が伴うことから、多額の費用や多くの年月を要する。そのような中、国からの交付金の内示率が低く、十分な財源の確保が難しい状況であることから、限られた費用の中で成果を挙げられるよう事業に取組んでいく。 ②特になし。 | B継続 |
| 66 | コミュニティバス運行助成事業 | 都市計画課都市政策室 | 利用者数 | 28 29 30 元 2 | 90,089 123,932 129,033 131,843 | 人 | (令和元年度) ①ノンステップバスが導入可能な全ての路線について導入済みとした。 ②利用者の安全性の向上 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①令和3年度からの新たな運行に向けて、コミュニティバスの運行路線の全てにおいてノンステップバスを導入するよう努めていく。 ② | B継続 |
| 67 | 安全な歩行空間の確保 | 道路河川管理課 | 看板撤去 | 28 29 30 元 2 | 64 5 2 0 | 枚 | (令和元年度) ①市内の主要幹線道路及び駅前広場等の違法看板合同撤去作業を1回行ったが、違法看板はなかった。 ・駅周辺の放置自転車等の撤去作業を年48回行い、212台撤去した。また、市内小学校第5.6学年及び市内中学校全学年に自転車の放置禁止を呼び掛けるパンフレットを配布した。 ②違法看板も、放置自転車の台数も減少した。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①違法看板の撤去枚数及び自転車の撤去台数はここ数年減少傾向にあるが、引き続き対策を実施していく。 ②市でも定期的に見回りを行っているが、市民からの通報も重要な情報源であるため、路上での違法看板及び放置自転車を発見し、それが通行に支障をきたす恐れがある場合、市へ通報していただけると幸いである。 | B継続 |
| | | 道路河川管理課 | 自転車撤去 | 28 29 30 元 2 | 370 324 260 212 | 台 | | | | |
| 68 | 通学路安全対策推進行動計画に基づく各種事業 | 学校教育課 | 児童生徒の事故件数 | 28 29 30 元 2 | 23 16 15 14 | 人 | (令和元年度) ①第三次通学路安全対策推進行動計画に基づき、令和元年度の安全施設等の設置工事については、グリーンベルトの補修、横断防止柵の設置など、整備予定の21箇所全て完了した。 ②様々な事業の効果もあり、児童生徒の事故件数については減少傾向である。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①児童生徒の事故件数については減少傾向であるが、今後も安全施設等の設置工事、子ども自転車安全講習会やスクエアドストリート自転車安全運転教室の実施等を通じて、ハード面とソフト面の両面から対策を実施していく。 ②安全対策が必要と思われる通学路があれば、地域からも、学校を通じて要望していただきたい。 | B継続 |
| 主な取り組み 20)防災対策の充実強化と防災意識の高揚 | | | | | | | | | | |
| 69 | 地域防災計画 | 安全対策課 | 地域防災計画の改訂 | 28 29 30 元 2 | 0 1 0 0 | 回 | (令和元年度) ①令和元年度は地域防災計画の改訂等は行っていないが、随時、広報かまがや・市ホームページ等で鎌ヶ谷市洪水ハザードマップの更新、全国瞬時警報システム(Jアラート)からの安心メールや市公式ツイッターなどへの自動連動配信、警戒レベルによる避難情報発令などの最新情報を更新している。 ② | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①地域防災計画に検討を加え、必要があると認めるときは改訂作業を実施する。 ②大規模な災害が起こると、市の準備だけでは対応しきれないこともあり、市民や企業との協力が必要となる。有事の際に備え、自身や家庭、事業所で日常から準備をし、また、災害が発生した時には、家族はもとより地域の方々や連携して、初期消火、付近の高齢者などにも声を掛け合い避難をし、避難所運営に協力して助け合っていたらきたい。 | B継続 |
| 70 | 総合防災訓練(防災ふれあいひろば) | 安全対策課 | 参加人数 | 28 29 30 元 2 | 1,052 1,965 0 1,871 | 人 | (令和元年度) ①総合防災訓練を実施し、1,871人が参加した。 ②防災啓発を行うことにより、市民の防災意識が向上した。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①新型コロナウイルス感染症のため、総合防災訓練が中止となったが、それに代わる市民に向けた防災啓発事業を実施する。 ②市民一人ひとりの防災意識、防災行動力の向上を図り、市民の生命、財産を災害から守り、安全で安心な生活を確保することを目的としているため、多くの市民に積極的に参加していただきたい。 | B継続 |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|---|----------------|---------|--------------|--------------------------|---|----|--|--------------------|---|-------|
| 主な取り組み 21) 地域による防犯体制の構築と防犯意識の高揚 | | | | | | | | | | |
| 71 | パトロール体制の構築 | 安全対策課 | 自主防犯パトロール隊員数 | 28 29 30 元 2 | 1,387 1,297 1,318 1,316 | 人 | (令和元年度) ①防犯だより、安心eメール等で自主防犯パトロール隊員を募集した。 ②随時、自主防犯パトロール隊への新規参加があった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①自主防犯パトロール隊員の平均年齢が高いため、引き続き様々な媒体を使用して隊員を募集する。 ②地域の自主防犯パトロール隊に、積極的に参加していただきたい。 | B継続 |
| 72 | 夜間防犯パトロール事業 | 安全対策課 | 通報件数 | 28 29 30 元 2 | 4 3 3 10 | 件 | (令和元年度) ①青色回転灯付防犯パトロール車2台により、週5日間、1日7時間のパトロールを260日実施した。 ②警察への通報を10件、重点活動地域の指示を8件行った。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①令和元年の市内刑法犯認知件数は前年から減少し、事業の効果は向上しているが、今後も犯罪が起きやすい夜間のパトロールを継続して実施する。 ②自分でできる犯罪防止対策をとってもらうとともに、近隣の危険箇所等の情報を提供していただきたい。 | B継続 |
| 73 | 防犯サテライト事業 | 安全対策課 | 実施回数 | 28 29 30 元 2 | 13 16 11 19 | 回 | (令和元年度) ①東部地区や北部地区等において、防犯キャンペーンを計19回実施した。 ②電話de詐欺の手口や注意事項などを啓発し、理解が深まった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①電話de詐欺の被害根絶に向けて、引き続き防犯サテライト事業等で手口や注意事項などを啓発する。 ②防犯サテライト事業等への参加、近所の高齢者への注意喚起や声掛けをしていただきたい。 | B継続 |
| 74 | 児童生徒安全パトロール事業 | 学校教育課 | 不審者情報件数 | 28 29 30 元 2 | 61 58 62 29 | 件 | (令和元年度) ①鎌ヶ谷市を4つのエリアに分け、児童生徒の下校時に、警備会社とシルバー人材センターによる車3台、徒歩3班でのパトロールを行った。また、学校教育課での不審者情報等の連絡受け入れ体制を整えた。 ②不審者情報等を受けた際に、巡回中のパトロール員へ直接情報提供し、現場周辺のパトロールをすぐに実施することができた。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①地域の方々の見守り活動について情報共有を行い、市内全域で防犯活動の空白地帯ができないよう、見守りをさらに強化していく必要がある。 ②パトロール員だけでなく、83+運動などを通じ、地域全体で子どもたちを見守る意識を高めてもらいたい。 | B継続 |
| 75 | 青色防犯パトロールカーの活用 | 学校教育課 | 不審者情報件数 | 28 29 30 元 2 | 61 58 62 29 | 件 | (令和元年度) ①各小中学校区に青色パトロールカーを配置し、教職員を中心に青色パトロールカーによる活動を行った。また、学校への訪問等を児童生徒の登下校時間帯に合わせて青色パトロールカーで行う、不審者情報のあった箇所の見守りを行うなど教育委員会でも積極的に活用した。 ②不審者情報があった箇所に対し、教職員と教育委員会の職員による見守りを行った。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①教職員の多忙化が問題視される中で、登下校時のパトロール実施は負担も大きくなっていくが、教育委員会も含め、児童生徒の見守りを積極的に行っていかなければならない。 ②地域への青色パトロールカーの貸与を通じて、地域全体で子どもたちを見守る意識を高めてもらいたい。 | B継続 |
| 76 | 安全ネットワーク会議 | 学校教育課 | 不審者情報件数 | 28 29 30 元 2 | 61 58 62 29 | 件 | (令和元年度) ①全中学校区が学校主催で開催し、通学路上の安全対策や防犯対策が必要な箇所、地域のボランティアの方の活動状況などを情報共有した。鎌ヶ谷警察にも出席して頂き、交通・防犯両面で指導頂いた。 ②防犯面・交通安全面で注意・対策が必要な箇所が理解できた。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①ネットワーク会議等での情報共有を通じて、市内で防犯活動の空白地帯が出ないようにしなければならない。 ②自治会等を通して、地域全体で子ども達を見守る意識を高めていただきたい。 | B継続 |
| 主な取り組み 22) 災害発生時の迅速な情報伝達、かまがや安心eメールの登録促進 | | | | | | | | | | |
| 77 | かまがや安心eメール | 安全対策課 | 登録者数 | 28 29 30 元 2 | 7,117 7,927 8,434 9,256 | 人 | (令和元年度) ①広報かまがや(毎号24回)に登録用QRコードを載せ、防犯キャンペーン(11回)・自主防災訓練(18回)等において、PRチラシを配布した。 ②平成30年度末8,434人だった登録者が、令和元年度末には9,256人と822人増加した(防災配信5,616人・防犯配信3,640人※重複登録者あり)。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①安心eメールの登録者をさらに増やすため、PR活動を継続する。 ②地域においても安心eメールの登録をPRしていただきたい。 | B継続 |
| | | 青少年センター | メール配信数 | 28 29 30 元 2 | 24 30 30 24 | 回 | (令和元年度) ①不審者、危険箇所等、その他子供の安全に関する情報の提供 ② | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①さらに登録者数を増やす。 ②かまがや安心eメールの積極的な活用をするため登録者及び知人等への情報提供をお願いしたい。 | B継続 |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|--------------------------------|-------------------------------|----------|---------------|--------------------------|--------------------------|----|--|--------------------|--|-------|
| 施策9 孤立化・虐待防止と権利擁護をすすめます | | | | | | | | | | |
| 主な取り組み 23) 児童虐待の防止 | | | | | | | | | | |
| 78 | 児童虐待防止対策等地域協議会による関係機関の連携・情報交換 | こども総合相談室 | 実務者会議、個別支援会議数 | 28 29 30 元 2 | 74 79 94 111 | 回 | (令和元年度) ①実務者会議において要保護児童の情報共有、対応方針等について協議している他、関係機関でより連携が必要なケースについては、個別支援会議を実施した。 ②関係機関にて、支援の必要性や対応方針について共通認識を持つことにより、連携して迅速に対応することができた。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①支援対象児童等の増加や児童虐待に係る問題が複雑化している状況において、限られた時間の中で、効果的な会議等の運営方法について、引き続き、検討する必要がある。 ②虐待が疑われる家庭がある際は連絡をいただきたい。また、支援が必要な家庭に対して、地域での見守りをお願いしたい。 | B継続 |
| 79 | 養育支援訪問事業 | こども総合相談室 | 訪問延件数 | 28 29 30 元 2 | 227 284 340 396 | 件 | (令和元年度) ①妊娠中や子育ての不慣れさや不安を抱えながら子育てしている等、特に支援が必要な家庭に支援員が訪問して、養育に関する相談支援を行った。 ②妊娠中から産後早期における家庭をはじめ、乳幼児のいる家庭において、支援員が訪問して、養育に関する相談指導を行った。また孤立している家庭や養育の困難さがみられる家庭に対して育児負担の軽減を行うことで、虐待予防につながった。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①産後うつ等の養育者の体調面や育児への不安を抱える家庭も増加していることから、引き続き、支援が必要な家庭を早期に把握し、迅速な相談・支援などを実施するとともに、その家庭が地域から孤立しないよう、関係機関との連携が必要である。 ②地域の中で孤立している方や子育てに不安や悩みを抱えている方がいた場合には、連絡をお願いしたい。また、支援が必要な家庭に対して、地域での見守りをお願いしたい。 | B継続 |
| 主な取り組み 24) 乳幼児家庭の見守り活動 | | | | | | | | | | |
| 80 | 乳児家庭全戸訪問事業 | 健康増進課 | 乳児全戸訪問率 | 28 29 30 元 2 | 91 96 98 96 | % | (令和元年度) ①新生児訪問、保健推進員訪問、保健師訪問等にて乳児のいる家庭に全戸訪問を実施した。また、訪問する職員の質の向上のため、乳幼児の救急救命講習等を実施するとともに、保健推進員活動の振り返りや活動満足度の評価を行った。 ②96%の乳児のいる家庭に訪問することができ、必要な人を早期に支援につなげることができた。また、活動の振り返りや満足度評価を実施することで、保健推進員に対する職員の意識向上や研修会等企画運営の参考となった。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①事業の目的や重要性を理解し、必要な支援につなげられるよう保健推進員やそれを支援する保健師の資質の向上を図る。 ②必要な支援が受けられるよう、母子健康手帳発行時や出生票提出時等で紹介のあった、乳児家庭全戸訪問事業を利用する。 | B継続 |
| 81 | 妊娠、出産及び育児期における養育支援家庭の早期把握 | 健康増進課 | 関係機関につなげた件数 | 28 29 30 元 2 | 40 44 45 47 | 件 | (令和元年度) ①利用者支援事業(母子保健型)を継続し、保健師等による全数面接や、乳児健康相談・幼児健康診査等の母子保健事業を通して、支援が必要な家庭を把握し、必要な機関につなげた。また切れ目ない支援となるよう、必要な関係機関と連携し、支援を行った。 ②妊娠期から様々な母子保健事業を通して、切れ目のない支援を行うことができた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①継続支援が必要な場合については、課内で情報共有をするとともに、関係機関と連携したケースについては、連絡会等を通し、継続してその後の支援の方向性を確認し支援を行う。 ②地域のボランティアや相談者へ各サービスや相談窓口を知ってもらい、必要な時に活用すると共に、他の市民にも利用出来るよう伝えていく。 | B継続 |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|---------------------------|--------------|---------|--------------|--------------------------|--------------------|----|---|-------------------------|--|-------|
| 主な取り組み 25) 成年後見制度の周知と利用促進 | | | | | | | | | | |
| 82 | 成年後見制度利用支援事業 | 障がい福祉課 | 申し立て件数 | 28 29 30 元 2 | 1 0 0 0 | 件 | (令和元年度) ①成年後見開始等審判の申立てが1件あった。 ②親族が成年後見の申立てを行うことになり、市長申立ては不要と決定された。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①身寄りがいない等で成年後見の申立てを行えない方がいた場合、市長が成年後見の申立てを引き続き行う。 ②身近に支援が必要な方がいた場合、関係機関に連絡等を行ってほしい。 | B継続 |
| | | 高齢者支援課 | 申し立て件数 | 28 29 30 元 2 | 5 4 7 6 | 件 | (令和元年度) ①身寄りがいない等で成年後見の申立てを行えない方について、市長が成年後見の申立を行った。 ②6人の方に後見人等がつき金銭管理等の支援に繋がれた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①身寄りがいない等で成年後見の申立てを行えない方について、市長が成年後見の申立を引き続き行う。 ②地域における相互支援活動として、市民という立場を活かして支援が必要な方が身近にいた場合、関係機関への連絡等を行ってほしい。 | B継続 |
| | | 社会福祉協議会 | 相談会の開催 | 28 29 30 元 2 | 2 2 2 2 | 回 | (令和元年度) ①成年後見制度も含め、人生の終末期の備えとして終活セミナー(4回シリーズ)実施した。また、司法書士の協力を得て、個別相談会を2回実施した。 ② | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①今後も、成年後見制度利用の促進のために個別相談会を開催する。 ② | B継続 |
| | | | 相談件数 | 28 29 30 元 2 | 4 5 7 7 | 件 | | | | |
| 83 | 成年後見制度の周知と活用 | 障がい福祉課 | 講演会の開催 | 28 29 30 元 2 | 1 0 0 0 | 回 | (令和元年度) ①講演会は実施していない。認定NPO法人東葛市民後見人の会を後援しており、同NPO法人が主催する成年後見制度の啓発及び普及活動のため行われる「鎌ヶ谷市後見相談サロン」の開催を広報に掲載し、周知を行った。 ② | C実施されている部分もあるが、不十分な点が多い | (R2年度) ①引き続き周知を行っていく。 ②研修会、後援会等への積極的な参加。 | B継続 |
| | | | 参加者数 | 28 29 30 元 2 | 122 0 0 0 | 人 | | | | |
| | | 高齢者支援課 | 研修会や講習会による周知 | 28 29 30 元 2 | 2 2 2 2 | 回 | (令和元年度) ①市民後見人養成研修等に関して広報への掲載を行った。 ②関心のある方が増えており、養成研修の参加希望者も増加した。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①研修時には引き続き広報にて周知していく。 ②研修会に積極的に参加し、成年後見制度について理解を深めてほしい。 | B継続 |
| | | | | 28 29 30 元 2 | 1 0 0 0 | 回 | | | | |
| | | 社会福祉協議会 | 講演会の開催 | 28 29 30 元 2 | 1 0 0 0 | 回 | (令和元年度) ①パンフレットの配布等を行い制度の周知に努めた。 ② | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①パンフレットの配布等を行い制度の周知に努める。 ② | B継続 |
| | | | | 28 29 30 元 2 | 122 0 0 0 | 人 | | | | |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|--|------------|---------|------------|--------------------------|----------------------|----|---|--------------------|---|-------|
| 主な取り組み 26) 市民や関係者等に対する啓発と市民後見人の育成 | | | | | | | | | | |
| 84 | 市民後見人の育成 | 障がい福祉課 | - | 28 29 30 元 2 | - | - | (令和元年度) ①市民後見人の育成については実施していない。 ② | D実施方法も含め改善が必要である | (令和2年度) ①今後、実施していくべきかを含めて検討が必要。 ② | B継続 |
| | 市民後見人の育成 | 高齢者支援課 | 参加人数 | 28 29 30 元 2 | 5 5 10 16 | 人 | (令和元年度) ①市民後見人養成講座を年1回開催し、16人が修了した。 ②昨年に比べ多くの希望者が参加した。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①修了後の活動について検討が必要。また、後見制度と同様に周知を行う。 ②成年後見制度への理解を深めるために多くの方に研修会へ参加をしていただきたい。 | B継続 |
| | 市民後見人の育成 | 社会福祉協議会 | - | 28 29 30 元 2 | - | - | (令和元年度) ①市民後見人の育成については実施していない。 ②行政やNPO法人が実施している市民後見人養成研修の啓発に協力した。 | D実施方法も含め改善が必要である | (令和2年度) ①今後、実施して行くべきかを含めて検討が必要。 ②行政やNPO法人が実施する市民後見人養成研修等の啓発に今後も協力する。 | B継続 |
| 85 | 家族に対する支援 | 高齢者支援課 | 開催回数 | 28 29 30 元 2 | 22 25 25 29 | 回 | (令和元年度) ①認知症地域支援推進員による相談対応や介護者のつどいの開催を実施。 ②介護者同士での情報共有や、介護家族のリフレッシュの場となった。また、認知症相談では家族や本人の意向に沿い、介護保険の申請や介護サービスの介入について助言。ケアマネジャー等に引き継ぎ継続的なサービスの導入ができた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①在宅介護者のつどいにおいて、介護している家族が参加しやすい開催場所や時間、内容を検討していく必要がある。また、認知症相談では相談を受けた推進員がより適切な助言ができるよう認知症サポート医と連携しやすい体制が必要。 ②事業に参加し、情報交換をしてほしい。また、これらの事業を近所の支援が必要な方に伝えてほしい。 | B継続 |
| | 家族に対する支援 | 社会福祉協議会 | 開催回数 | 28 29 30 元 2 | 12 12 12 11 | 回 | (令和元年度) ①在宅で要介護状態の家族を介護している方のリフレッシュ事業と介護相談等を毎月実施した。 ②参加者の介護は十人十色。互いの介護の悩みを相談し合える仲間作りとしても利用されていた。 ※コロナ感染拡大防止により3月実施を中止とした。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①月1回開催について、介護中の家族にとって、利用困難な事情の方へのサポートが課題。社会事業間で実施する地区社協情報や相談事業による情報提供等について、毎月の介護者のつどい参加案内時に周知していく。 ②コロナ感染拡大防止の観点より事業を中止していたが、9月より少人数で再開できるよう準備をすすめている。 | B継続 |
| 主な取り組み 27) 日常生活自立支援事業の充実と利用促進 | | | | | | | | | | |
| 86 | 日常生活自立支援事業 | 社会福祉協議会 | 相談受付人数 | 28 29 30 元 2 | 24 16 24 17 | 人 | (令和元年度) ①金銭管理に不安があり、成年後見制度を補完するサービスとして、利用者の意思決定に基づき、利用援助等を行った。現在利用契約者は、高齢者や精神障がいのある方で、生活困窮者の利用者が全体の8割となった。 ② | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①事業の利用周知のため、広報誌「かまがや社協だより」(全戸配布)年3回発行のうち、1回分は頁数を増やし、広報啓発に努める。今後、生活困窮世帯等の契約利用者の増加が予想されるため、福祉関係機関・福祉支援者との連携が更に望まれる。 ② | B継続 |
| | | 社会福祉協議会 | 利用契約件数 | 28 29 30 元 2 | 10 9 12 11 | 人 | | | | |
| | | 社会福祉協議会 | 生活支援員 | 28 29 30 元 2 | 8 12 12 12 | 人 | | | | |

| No | 事業名 | 担当課 | 事業の成果を表す指標 | 年度 | 実績値 | 単位 | ①令和元年度に実施した事業 ②どのような成果があったか | 令和元年度の評価 | ①課題や今後の取組 ②協働事項(その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと、手伝ってほしいこと) | 今後の方針 |
|---|--------------------|--------|------------|--------------------------|--------------------------|----|---|-------------------------|--|-------|
| 基本目標4 地域福祉を支えるネットワークを推進します | | | | | | | | | | |
| 施策10 地域包括ケアシステムを推進します (新規) | | | | | | | | | | |
| 主な取り組み 28)地域包括ケアシステムの確立に向けた連携体制の構築 | | | | | | | | | | |
| 87 | 在宅医療・介護連携の推進 | 高齢者支援課 | 研究会や講演会の実施 | 28 29 30 元 2 | 11 10 25 26 | 回 | (令和元年度) ①②世話人を3部会に分け、各部会で活動した。世話人全体での会議は2回実施。研修部会(6回)では研修を2回主体となって実施。広報部会(7回)ではポスターを作成。認知症部会(9回)ではオレンジカフェの状況と介護現場と薬局の連携に関するアンケートについて報告。 ② | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①研修部会では広報部会や認知症部会からの提案などからも研修を企画。広報部会では作成中のポスターを配布。認知症部会では認知症の服薬管理の問題に着目し訪問薬局の利用促進、ポスター作成を行う。 ②地域の医療機関や介護施設で顔の見える関係づくりを積極的に行ってほしい。健康寿命を延ばすようかかりつけ医を持ち、自己の介護予防のために社会参加をしてほしい。 | B継続 |
| 88 | 認知症施策の推進 | 高齢者支援課 | 会議開催回数 | 28 29 30 元 2 | 12 15 16 20 | 回 | (令和元年度) ①認知症相談事業での月1回の勉強会や認知症地域支援推進員による認知症施策についての会議を8回開催。 ②認知症ケアパスの改定内容や、オレンジサポート員の活動内容について検討した。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①認知症サポーター養成講座のレベルアップ講座を令和元年度に引き続き8月開催予定。認知症関連事業への協力者を登録管理し、地域での担い手として普及啓発活動へつなげる。 ②認知症の人やその家族が住みやすくなるよう認知症について理解し偏見なく見守ってほしい。 | B継続 |
| 89 | 生活支援サービスの推進 | 高齢者支援課 | 開催回数 | 28 29 30 元 2 | 2 4 15 20 | 回 | (令和元年度) ①地域の活動について把握を行った。また地域のニーズについて話し合いを行い社会資源の確認を行う。 ②各地域で課題となったことについて媒体を作成することができた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①第2層協議体の開催地区を増やし地域の実情に合わせたサービスの検討をしていく。 ②地域の方が一緒に参加できる仕組み作りに向けて様々な立場の方との話し合いをしていきたい。 | B継続 |
| 90 | 地域の医療資源の把握 | 健康増進課 | 医療機関数 | 28 29 30 元 2 | 120 120 261 261 | 件 | (令和元年度) ①半径5km圏内の医療機関、歯科医療機関情報を提供することができた。 ②すべての医療機関、歯科医療機関情報の更新を行うことができた。 | A順調に進んでいる | (令和2年度) ①検索方法を見直し、より検索しやすいものにする。また随時情報を更新する。 ②かかりつけ医を持つこと。 | B継続 |
| 主な取り組み 29)高齢者の生活支援や介護予防支援 | | | | | | | | | | |
| 91 | 介護予防・生活支援サービス事業 | 高齢者支援課 | 会議開催回数 | 28 29 30 元 2 | 2 4 15 20 | 回 | (令和元年度) ①第2層協議体を設置し、北部地区、東部地区、南部地区、西部地区での定期的な会議を実施。 ②北部地区ではチラシを作成し周知を行う。東部地区ではお助け電話帳を作成し配布。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①第2層協議体を6生活圏域に設置する。 ②活動について住民に周知していく。協議体で具体的な取り組みを内容を検討する。 | B継続 |
| 92 | 一般介護予防事業 | 高齢者支援課 | 参加人数 | 28 29 30 元 2 | 68 144 169 186 | 人 | (令和元年度) ①口腔・栄養・運動の複合プログラムによる運動教室(ちよ筋教室、全10回年3クール開催)関節の痛み等があり悩んでいる方に柔道整復師が運動教室を行う。(柔体操、全12回、12か所、年2クール開催) ②参加した方より、参加する前と比べ姿勢や口腔、食事面等意識し生活することが多くなった。参加後独自に集まるなど交流が深まっている。 | B概ね順調だが、不十分な点が少しある | (令和2年度) ①事業参加後、住民主体で継続し活動できる場が少ない。また、継続的な運動ができる場所の確保が課題である。 ②介護予防の目的を理解し、自宅敷地等場所の提供をお願いしたい。 | B継続 |
| 93 | 新しい介護予防・日常生活支援総合事業 | 高齢者支援課 | 参加事業所数 | 28 29 30 元 2 | 20 38 59 61 | か所 | (令和元年度) ①生活支援サービスを開始した。 ②12人の利用実績があった。 | C実施されている部分もあるが、不十分な点が多い | (令和2年度) ①生活支援サービスの利用促進と通所型サービスについても実施を検討していく。 ②自身で健康行動がとれ、見守り等の地域での支え手として活動をお願いしたい。 | B継続 |